児童館 こどものひろば

「スライムを作ろう」

南児童館では、6月13日にスライムを作りました。紙コップの中のホウ砂液に絵の具で色をつけ、洗濯のりを加えながら割り箸で一気にかきまぜます。すると初めは水分を含んだ液体が、あっという間に固まってきます。涼しげで透明感のある綺麗なスライムができあがりました。油を塗った手でひんやりと柔らかいスライムの感触を楽しんでいました。

「くつとばし大会」

西児童館では、6月13日に公園内で「くつとばし大会」を行いました。自分の靴をどこまで遠くへ飛ばせるかを競いました。子どもたちの靴は、あっちこっちに飛んでしまったり、真っ直ぐ公園のはじまで飛んでいった靴もありました。みんな元気いっぱいで、とても楽しそうでした。

8月の行事予定

南児童館 ☎(84)3456

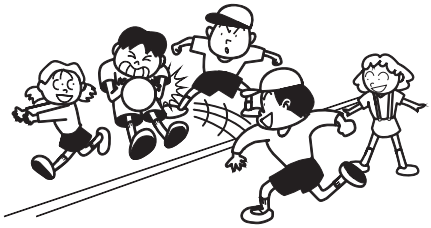
- 野菜を育てよう　3日(水)
- ストラックアウト　18日(木)
- ドッジボール大会　22日(月)
- 輪投げ大会　30日(火)

西児童館 ☎(84)2321

- スライム作り　3日(水)
- うちわを作ろう　11日(木)
- ゲーム大会（母親クラブ主催）　20日(土)
- ハンドで25　30日(火)

臨時休館のお知らせ

［南児童館・西児童館］
8月13日(土)から16日(火)まで
9月9日(金)・16日(金)



思いやりの心で明るい社会を

入院して感じたこと

五霞西小学校

ぼくは、今までに、3回入院したことがあります。

そのときに、いろいろな人に助けてもらいました。たくさんの人の優しさを感じました。

まずは、お医者さんと看護師さんです。病院の先生たちは、いつも優しく声をかけてくれました。「今日の調子はどうですか?」「せきは苦しくないですか?」看護師さんは、つらいときに、いつもそばにいてくれました。

ぼくの家族は、仕事の間に病院に来てくれました。お母さんは、付きそいで泊まってくれました。お母さんは布団がないので、ベッドのとなりに置いてあるイスで寝ていました。その姿を見て、「早く、病気を治さないといけないな」と思いました。

入院したことについて、最初は、「どうしてぼくが入院しなければいけないのだろう」と不満に思っていましたが、3回の入院で、「たくさんのありがとう」と「感動」を感じることができました。

入院では、びっくりしたことがあります。献立のメニューが一人一人違うことです。ぼくはそのことを知って、「一人一人の体のことを考えて、一人一人に合わせたメニューを考えてくれているんだな」と感じて、好き嫌いなく食べなくちゃいけないなと思いました。

病院の中のゴミを集めてくれるおじいさんや、受付けで案内をしてくれる人など、ぼくたち入院している人たちのために、たくさんの人が一生懸命働いていることに気づきました。

ある日、病室の窓から外をながめていたときに、驚いたことがありました。それは、病院の外で草取りをしている人たちがいたことです。「病院の中だけでなく外でも、いろいろな仕事で、頑張ってくれている人たちがいるのだな」、と思いました。草取りをしている人たちが「ボランティア」だと聞いて、更にびっくりしました。こんなに寒いときに、何時間も草取りをして病院の庭をきれいにしてくれていたのです。そのときはボランティアに一生懸命になることが、どんなことなのかよくわかりませんでした。

その後、ぼくは学校に通えるようになって、毎朝、ボランティア活動をするようになりました。プランターの草取りや枯れ葉やゴミなどの掃き掃除。朝のあいさつ運動などです。ぼくにできることがあって、そのボランティア活動を一生懸命やることで、学校がきれいになったり、みんなが元気になれるのは、すごく気持ちの良いことだと気づきました。

ぼくは入院がなかったら、たくさんの人が支え合っていることに気づかなかったと思います。そして、気持ちの良いボランティア活動にも気づかなかったと思います。ぼくは大人になっても、ボランティア活動など、人のためになること、人の心を支えられることをたくさんしたいです。